

地鎮祭について

◀ 地鎮祭とは？ ▶

地鎮祭(じちんさい・とこしずめのまつり)は、土木工事や建築などで工事を始める前に行う、その土地の神(氏神)を鎮め土地を利用させてもらうことの許しを得る儀式です。神式と仏式があり、一般に神式が多く、神主が神を祀って参列者の心身を祓い清めてその土地の守護神をお迎えし、祝詞(祝詞)を捧げて工事の無事を祈る儀式とされており、安元祈願祭と呼ばれることもあります。

※必ず行う行事ではなく、やらない方もいらっしゃいます。
(神式以外でやる場合はあらかじめご連絡をお願いします。)

◀ 施主様側でご準備頂くもの ▶

- ①酒(清酒): 2升
(熨斗表書きは「奉献」)
- ②お米: 1升合
- ③お塩: 1合
- ④海の幸: 尾頭付きの魚(季節により異なるが鯛などが一般)、昆布(カットしていない乾燥昆布を2~3枚)・すめめ等
- ⑤野菜: 大根、人参、なす、キュウリ等旬の野菜何種類か
果実: りんご、みかん、バナナ等旬の果物何種類か



◀ 施工者側で準備するもの ▶

- ・テント・笹竹・砂・注連縄
- ・三方(神社)
- ・半紙
- ・丸盆
- ・湯呑(紙コップ)

◀ 玉串料について ▶

玉串料(初穂料)とは、神様に奉納するお礼金になります。

「祝儀」とはことなりますので、表書きは「御初穂料」または「御玉串料」と記入します。

*神社によっては、「清酒」・「玉串料」以外のお供え物に関して準備してくれるところもあります。

一般的には玉串料+供物料で¥30,000~40,000(神社にさんによって異なります)事前にご相談ください。